

# 災害に強い首都「東京」の形成に向けた連絡会議 第4回

## 議事要旨

### 1. 日時

令和2年12月15日（火）16:30～17:15

### 2. 出席者

国土交通省 山田技監、青木不動産・建設経済局長、榊都市局長、井上水管理・国土保全局長、吉岡道路局長、和田住宅局長、土井関東地方整備局長

東京都 上野都技監（都市整備局長兼務）、山手総務局長、中島建設局長、榎本住宅政策本部長、安藤消防総監（代理出席：田中参事兼防災安全課長）

内閣府 青柳政策統括官（防災担当）（代理出席：内田大臣官房審議官）  
（オブザーバー）荒川都市再生機構理事、森川不動産協会理事／事務局長

### 3. 議事要旨

○ 議事1)、2)について事務局から説明がなされた

○ その後、意見交換を行い、

- ・ 防災の目的だけでなく、平常時から使いやすく、首都「東京」に相応しい魅力的なまち、その中に防災がビルトインされているように、まちづくりを進めたい。そのためにも、関係者の緊密な連携の下でやっていくことが重要である。
- ・ 浸水時のみならず平常時もいかに魅力的な空間にしていくかが重要である。
- ・ 高台まちづくりが、防災面だけでなく、さまざまな面で魅力的であることを都民に理解していただく必要がある。イメージだけでなく、現地での整備を実際に見て頂くことも重要である。

などの意見が出された。

○ ビジョン（案）を「災害に強い首都「東京」形成ビジョン」として決定した。

（赤羽国土交通大臣、小池東京都知事 入室）

○ 「災害に強い首都「東京」形成ビジョン」について事務局から説明がなされた。

○ 小池東京都知事より、

- ・ 大規模水害、首都直下地震等のさまざまな災害から、都民の命、財産を守るための具体的な方策を考えなければならない中、ビジョンにおいて具体的な方策が示された。

- ・ 今後は、この会議の下にワーキンググループ等を設置し、避難計画とも連携しながらさらに検討を進めていただきたい。
- ・ 先行して設定したモデル地区については、地元区等とも連携し、事業の実践に向けた具体的な検討を進め、事業を強力に推進していただきたい。
- ・ 区全体を対象とした高台まちづくり方針について、モデル地区の追加、実施に繋げていただきたい。
- ・ 道路の高架部等の避難施設の活用についても、いざというときに都民の命を守れる場を確保するために速やかに検討を進めていただきたい。
- ・ 引き続き、本連絡会議で検討を重ね、新たに確認された課題等に対し、制度の充実を図ることにより、ビジョンの改訂を適宜実施していただきたい。
- ・ 都として、国や区と連携し、東京の防災まちづくりの事業化を強力に進めていく。
- ・ 「災害は忘れたころにやってくる」とはかつての言葉であり、「忘れる前から次から次へと新しい形でやってくる」。これに対し、想定できないようなことも想定しつつ、対応策を練っていききたい。

などの発言がなされた。

○ 赤羽国土交通大臣より、

- ・ 気候変動により被害が極めて深刻化している。首都「東京」での大規模災害の発生は、国難となり、災害に強い首都「東京」の形成づくりは急務である。
- ・ 国土交通省としては、これまでの治水対策を抜本的に見直し、上流から下流、本川・支川を含め、地域住民、企業、国、東京都、区市町村等地域が一体となってあらゆる関係者が協働して、ハード・ソフトの対策に取り組む「流域治水」を進めていく。
- ・ 首都「東京」を貫流する荒川では、抜本的な事前対策として、荒川第二、第三調節池の整備を進めている。このような治水対策に加え、まちづくりの施策を組み合わせ、平時はにぎわい空間、大規模浸水時は避難場所にもなる「高台まちづくり」を進め、有事の際の減災を図ることが重要である。このため、制度面、予算面、直轄河川事業の実施など含め、省をあげて取り組む。
- ・ 国、東京都、地元の区が一体となって、ビジョンで示された取組方策の具体化、モデル地区等でのプロジェクトの早期実現、緊急避難先としての道路高架部などの活用に向けて、スピード感をもって検討を進めていただきたい。
- ・ 地震対策について、ハード面の整備改善に加え、地域防災力を高めるためのソフト対策も含め、東京都と連携し、密集市街地の整備をより加速化・深化できるよう支援する。
- ・ 本ビジョンで示された様々な取組方策は、全国の防災まちづくりの先例となり、展開をすることを考えているため、今後も、本連絡会議において、国と東京都が一体となって、検討を深め、施策を強力に推進していただきたい。
- ・ 12月11日に閣議決定した「防災・減災、国土強靱化のための5か年」の加速化対策を着実に実行し、激甚化する風水害や巨大地震等から首都「東京」を守るため、安全・安心な社会を実現していただきたい。

などの発言がなされた。

以上